

## ⑤ キャリア教育で身に付けさせたい力と授業改善

各学校においては、自校の児童生徒の課題を明確にした後、自校の「身に付けさせたい力」と関連性を持たせながら、授業改善を進めてもらいたい。

また、参考に小・中・高とも、特別活動を要として、キャリア教育の充実を図ることになっていることから、特別活動との関連性も示す。

	授 業	特 別 活 動
かか わ る 力	問いをもって主体的に学習課題にかかわり深い学びに至るためには「他者との関わり合い」が欠かせない。この力は、「多様な他者の考えや立場を理解し相手の意見を聴きながら、自分の考えを正確に伝えることができる」というものであり、社会とのかかわりの中で自己実現を図るための基礎となる力である。	「かかわる力」を育成するためには、行事や日常の係活動、当番活動、委員会活動等を通して、互いを尊重し、社会を形成する一員としての自覚と責任感を育むことが重要である。
ふ り 返 る 力	本県では「授業における基本事項」を示し、「ふり返りの確実な実施」を提唱し授業改善を進めている。学習のめあて（問い）の解決のために、他者と関わりながら学んできた過程を、授業の終末で振り返り、次の学習につなげていくことを日々繰り返していくことで「ふり返る力」が育成されると考える。	特別活動における学校行事、係活動、当番活動、委員会活動等の活動過程を適宜振り返り、改善の方向性について児童生徒同士が話し合っていくことは、キャリア教育における「自己理解・自己管理能力」を育成するうえで重要である。
や り ぬ く 力	本県の児童生徒は「夢を持っている」という子が多いが、夢を実現するために具体的に計画を立て、その実践に向けて努力する姿勢には課題があることが、調査結果からも分かっている。授業の中で努力してできるようになった小さな成功体験が、やがて大きな夢をかなえる力に育っていく。「やりぬく力」はキャリア教育における「基盤」であり、自己有用感を伴った自己肯定感の醸成につながり、それは日々の授業から育まれるのである。	児童生徒が学級・学校課題を自ら解決していく過程は、キャリア発達の視点から、目的意識・役割意識といった「やりぬく力」を育むうえで重要である。社会生活は課題解決の連続であり、こうした困難に対してあきらめずに取り組んでいくためにも、特別活動における日常の活動を目的意識・役割意識をもって取り組ませ「やりぬく力」を育むことが大切である。
み と お す 力	「みとおす力」は、一単位の授業だけでなく単元を通して適切な計画を立て、課題を追究し分析し解決する力であり、学ぶこと・働くことの意義や役割を理解し、生き方や進路に関する情報を収集・整理しながら将来設計をし、実現しようとする「キャリアプランニング能力」に直結する力である。	特別活動では、一人一人のキャリア形成を図るために、「学校、家庭及び地域における学習や生活の見通しを立て、学んだことを振り返りながら、新たな学習や生活への意欲につなげたり、将来の生き方を考えたりする活動を行う」とされている。また、その際、「児童生徒が見通しを立てたり振り返ったりするための教材等を活用すること」としている。「ふり返る力」の前提となる「みとおす力」が特別活動においても重要視されている。

## 各教科等における実践【小学校】「基礎的・汎用的能力」と各教科との関連

※次の関連事項は、あくまでも例示であり、各教科と能力との関係を限定するものではない。

各教科等	関連事項（例）
国 語	課題について調べ、意見文や活動を報告した文章を書いたり編集したりすることで、自ら学び、課題を解決する力を高めることができる。 <b>やりぬく力</b>
社 会	人と人が社会の中で、相互にかかわりをもちながら生活を営んでいることを理解することで、今後の社会を積極的に形成しようとする力を高めることができる。 <b>かかわる力</b>
算 数	計算のきまりを自ら発見したり、体験的な学習を実際の生活の中で活かしたりすることで、様々な課題を発見・分析し、それを処理し、解決する力を高めることができる。 <b>やりぬく力</b>
理 科	観察や実験から生まれた疑問が主体的に問題解決に取り組む活動につながり、今後の成長のために進んで学ぼうとする力を高めることができる。 <b>ふり返る力</b>
生 活	公共施設などの目的やそれらを支える人たちの存在に気づき、直接かかわり、親しみを持つことで、将来、社会の一員となることを理解する力を高めることができる。 <b>みとおす力</b>
音 楽	多くの仲間と一緒に協力して音楽づくりを行うことを通して、友達の良さを理解する力や、他者に働きかける力を高めることができる。 <b>かかわる力</b>
図 画 工 作	児童が造形や絵画などの対象にイメージをもち、思ったこと感じたことを言葉にしたり、友人と話し合ったりすることで、コミュニケーション能力を高めることができる。 <b>かかわる力</b>
家 庭	生活に必要なお金は家族が労働を通して得たものであることを理解することで、学ぶこと・働くことの意義や役割を理解する力を高めることができる。 <b>みとおす力</b>
体 育	仲間とボール運動を通して、ルールやマナーを守り、仲間とゲームの楽しさや喜びを共有することで、自らの思考や感情を律する力や自らを律する力を高めることができる。 <b>ふり返る力</b>
外国語活動	外国語を駆使し、さまざまな相手と思いを伝え合う楽しさや難しさを実際に体験することで、コミュニケーション能力を高めることができる。 <b>かかわる力</b>